

神奈川県

地域防災拠点だより

冬号




年末を迎え、寒さが一段と厳しくなってきました。
みなさまにおかれましては、ご自愛のほどお願い申し上げます。

区役所からのお知らせ


地域防災拠点内の期限切れのガソリン・灯油の回収希望量の調査

地域防災拠点に配備されている期限切れのガソリンと灯油の回収を委託事業者を通じて実施します。


 回収対象物：期限切れのガソリンと灯油

 回答方法：「ガソリン・灯油回収希望調査票」または
横浜市電子申請・届出システム

 申込期限：令和8年1月16日(金)


 注意事項：今回の回収対象はガソリンと灯油のみです。
その他の燃料油や潤滑油等は回収いたしません。
なお、未回答の場合は回収対象外とさせていただきます。




 回答は
こちらから


神奈川県地域防災拠点意見交換会


運営委員のみなさまが他拠点の取組を知り、今後の活動の幅を広げる
アイデアや、抱えている課題の解決策を見出していただくことを目的に
意見交換会を開催します。


 日時：令和8年3月12日(木)18:00～20:00(17時30分開場)


 場所：神奈川県役所 本館5階 大会議室

 対象者：神奈川県地域防災拠点運営委員(1拠点2名まで)


 回答方法：「地域防災拠点意見交換会出席者確認票」
または横浜市電子申請・届出システム

 申込期限：令和8年2月23日(月・祝)

 意見交換のテーマ：「平時の活動や拠点訓練での工夫していること」(予定)

 注意事項：会場の都合上1拠点あたり参加者は2名までとさせて
いただきます。なお、出席を希望されない場合は確認票
の提出は不要です。



 回答は
こちらから

📢 拠点コラム 📢

～防災意識を風化させないために～

能登半島の地震から2年が経過しようとしています。発生時の記憶は薄れつつありますが、今年は青森で震度6強の地震が発生するなど、いつ大地震が発生してもおかしくありません。

時間の経過とともに警戒感が薄れることは自然なことです。防災意識の低下は、災害時に最大のリスクとなります。だからこそ防災意識を風化させないことが大切です。

今回は神奈川区職員が能登半島に派遣された際の体験談を御紹介いたします。この体験談を運営委員会等の場で共有していただき、皆さんの防災意識を高めるきっかけになれば幸いです。

地域の安全を守るための防災への継続的な取組をお願いいたします。

能登半島派遣職員の体験談

～被災地で見た現実と、今できる備え～

1月1日16時10分、突然の大地震が能登半島を襲いました。私は被災地に派遣され、現地の状況を目の当たりにしました。町では、ブロック塀が倒れ、道側溝のふたが外れ、道路も隆起していました。建物は瓦や土壁が崩れ、窓ガラスや建具が破損し、1階部分が潰れている家もありました。道路脇の斜面地では人の大きさの何倍もの岩が落ち、道路を半分塞いでおり、自然の力の大きさを痛感しました。

支援にあたっていた罹災証明書の受付では、筆筒やテレビなどの家具類の転倒やふすま・扉が損壊しているとの声を多く聞きました。地震が家族や親戚と過ごす時間に起きたことを考えると、家具の固定は命を守るためにと重要な『備え』だと強く感じました。

また、いつ起こるかわからない大地震、もし、夜に起きたとしたらと考えると、ブロック塀の倒壊や側溝のふたが外れている状況は二次災害につながるとも感じました。足元を照らせるライトを持ち出し品に加えることも大切な『備え』の一つになります。

